

自動車リサイクル促進センター 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 発行のサステナビリティボンドに投資 ～ 持続可能な社会の実現に貢献 ～

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区、代表理事:中村崇)は、本日、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(以下「JRTT」)が発行するサステナビリティボンドに投資を行いました。

JRTTが発行するCBI認証付きサステナビリティボンド*1で調達された資金は、①CO2排出量が少ない鉄道の建設、船舶の海洋汚染防止などの環境負荷の低減に資する事業、②多くの人が利用できる鉄道の建設、離島航路の整備などの必要不可欠な交通インフラの整備事業に活用されます。

現在、ESG投資は、パリ協定やSDGs(持続可能な開発目標)の採択など、国際社会が持続可能な社会の実現に向けた取組みを進めていくとした潮流や、環境省による「グリーンボンドガイドライン」の策定を背景として、国内外で拡大しています。

本財団はこれまでも、日本国内における循環型社会の実現に関する各種事業を行い、使用済み自動車の適正処理のために自動車ユーザーからお預かりした約9,400億円(2020年3月末時点)のリサイクル料金の管理・運用を通して、環境や地域・社会と共生し、SDGsに関する持続可能な社会へと安定的な成長を共有していく観点から、環境課題や社会課題の解決に資するESG投資を方針*2に基づき行っており、毎年その規模を拡大しています。そして、公益法人におけるESG投資のトップランナーとして、日本のESG債市場の発展に寄与すべく、発行体とのエンゲージメント(建設的な対話)*3に取り組んでおり、2021年度においても積極的にESG投資を行ってまいります。

本財団は、ESG投資が日本国内における資源の有効な利用の向上及び環境の保全に取り組んでいただくきっかけの一つになればと考えており、今後も持続可能な社会の実現に向けて社会的責任を果たしていきます。

*1 サステナビリティボンドとは、調達された資金が環境改善及び社会課題の解決に資する事業に充当される債券です。本債券は脱炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGOであるCBI(Climate Bonds Initiative)からの認証を取得しています。

*2 JARCのESG投資の方針 <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/esg/>

*3 発行体とのエンゲージメント <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/engagement/>

【本債券の概要】

債券名	第 146 回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 (サステナビリティボンド)
年限	10 年
発行日	2021 年 5 月 28 日
発行総額	100 億円
JRTT ウェブサイト	https://www.jrtt.go.jp/

【公益財団法人自動車リサイクル促進センター(JARC)の概要】

所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階
設立	2000 年(平成 12 年)11 月 22 日
理事長	なかむら たかし 中村 崇
事業内容	自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種取組
自動車リサイクル法 指定法人業務の主務官庁	経済産業省、環境省
JARC ウェブサイト	https://www.jarc.or.jp/ 

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
 広報・理解活動推進部
 電話 : 03-5733-7144